

事務事業名	コード1	0695	シルバー人材センター助成事業	課	社会福祉課			
	コード2		<input type="checkbox"/> 主要事業	所属班	社会班			
				電話番号	62-5317	内線	144	
政策体系	基本方針	3	健やかでやすらぎのあるまちづくり	予算科目	会計	款	項	目
	施策	4	高齢者福祉の充実		一般会計	03	02	01
	施策の展開	4	いきがいつくりの推進	根拠法令	旭市補助金等交付規則 高齢者等の雇用の安定等に関する法律			
	基本事業	178	シルバー人材センター助成事業					

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 11 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述⇒	高齢者の就業機会を確保し、社会参加や生きがいつくりのため、シルバー人材センターの運営費不足額を助成するとともに、事務局長に市職員を派遣し、その人件費も補助している。 シルバー人材センターは旭市内に居住する原則として60歳以上の健康で働く意欲があり、主旨を理解し賛同する方からなる自主的な会員組織。お客様はセンターに仕事を依頼し、仕事が完了した後に料金をセンターに支払う。会員は年会費2,400円(+互助会費1,000円)を支払い、お客様がセンターに依頼した仕事(除草、土木作業、農作業、施設管理業務など)を請け負い、その内容によって配分金が支払われる。センターは請負金額の9%を事務手数料とし、その運営を行う。市民や会員に周知を図るため、年2回広報紙(シルバーあさひ)を発行。 【業務の流れ】 シルバー人材センターから補助金の申請を受け、内容を審査し、適正であれば交付決定をする。補助額の請求を受けて支払い。事業終了後、事業報告を受けて、交付額確定を行う。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
補助金(市職員派遣人件費及び運営費不足額) 市職員派遣人件費 運営費不足額 3,274千円	事業費内訳						
	国庫支出金	千円					
	都道府県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	14,000	11,600	13,500	13,500	
	事業費計(A)	千円	14,000	11,600	13,500	13,500	0
② 延べ業務時間の内訳	人件費	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
補助金申請・事業報告の内容審査	正規職員従事人数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
	延べ業務時間	時間	10	10	10	10	
	人件費計(B)	千円	38	38	38	38	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	14,038	11,638	13,538	13,538	0

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) ①補助金(市職員派遣人件費及び運営費不足額) ②仕事の受注、紹介、普及啓発、会報(シルバーあさひ)年2回発行、会員募集(チラシの作成)、安全対策基本計画や事故防止計画書の作成	ア 補助金額	千円	14,000	11,600	13,500	13,500		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) ①補助金(市職員派遣人件費及び運営費不足額) ②仕事の受注、紹介、普及啓発、会報(シルバーあさひ)年2回発行、会員募集(チラシの作成)、安全対策基本計画や事故防止計画書の作成	イ 受注件数	件	2,105	2,151	2,084	2,200		
		ウ 契約金額	千円	120,052	125,073	119,664	126,950		
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	①シルバー人材センター ②市内に住む概ね60歳以上の健康で働く意欲のある人	ア 65歳から74歳までの登録人口(各年度3月末日現在)	人	7,942	7,603	7,867	7,867		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 会員数(各年度3月末日現在)	人	316	329	265	330		
上位目的	①市の助成を受け、不足する運営費を補い健全な運営を行う。 ②地域に密着した仕事をする事で、生きがいを持ち、社会に参加する。	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
		ア 受注件数(会員に提供できた仕事の件数)	件	2,105	2,151	2,084	2,200		
		イ ()							
		⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
・高齢者の福祉の増進 ・勤労意欲のある者に対する就労支援 ・地域社会の健全な発展	ア ()								
	イ ()								

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
平成11年高齢社会が進展するなか、国の補助金、市の指導援助を受けながら、高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業の機会を確保し、組織的に提供することにより、生きがいの充実、社会参加の推進を図り、高齢者の福祉の増進に資する地域社会づくりに寄与することを目的に発足した。 ・平成11年4月1日 社団法人旭市シルバー人材センター設立(認可) ・平成24年4月1日 公益社団法人旭市シルバー人材センターへ名称変更	・設立当初は職員1名(旧旭市)を派遣、平成15年4月から平成17年6月まで元職員(旧旭市)を雇用、さらに、合併後、社会福祉協議会、福祉協会とともに再度市職員を派遣している。 ・会員の高齢化等により退会者が増えている。 ・新入会員は事務職を希望する人が多くなってきたため、除草作業や植木の剪定作業を希望する会員が減少し、発注者の希望に添えない状況にある。	・お客様からは特定の会員を指名して業務を依頼したいという要望がある。

事務事業名	シルバー人材センター助成事業	課名	社会福祉課	班名	社会班
-------	----------------	----	-------	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ この事務事業の目的は市の政策体系に結びつかか？意図することが上位目的に結びついているか？	人口減少する中で、人材の確保や高齢者が健康で生きがいを持って地域社会で生活するため、希望する高齢者に対し、意欲や能力に応じた就業機会、社会参加の場を総合的に提供できる。
	② 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	高齢者福祉の増進につながる。
	③ 行政関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	高齢者等の雇用の安定等に関する法律により、雇用及び就業機会の確保を図ることが国及び地方公共団体の責務とされており、公共性が高く妥当である。 また、職員の派遣については嘱託職員等を雇用することで見直しができる。
	④ 成果の現状水準	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	会員数、契約金額等近隣と比較すると同程度である。
有効性 評価	⑤ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	受注拡大や会員数の増強を図る。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：() (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷ 他に同様の事業がない。	他に同様の事業がない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	シルバー人材センターでは、平成24年4月から正規職員(1名)を、臨時職員(1名)とし人件費を削減した。さらに、市職員の派遣をやめて臨時職員にすることで人件費削減ができる。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	補助事業書類の内容審査等であり、これ以上の時間削減は難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	高齢者福祉対策事業であり、市内在住の高齢者が会員になれる。 また、会員は年会費(2,400円)を負担している。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 市職員派遣の見直しを検討したい。
--	---

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ① 市職員派遣(事務局長)の見直しについて、平成26年度から業務に精通した高齢者を雇用したい。 ② ③ ④																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ① 人事等との調整が必要となる。 ② ③ ④																						